

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1 会議名	第2回愛南柑橘営農環境改革推進協議会	
2 議題	(1) 愛南柑橘加工施設整備のスケジュールの組替えについて (2) その他	
3 開催日時	令和3年2月8日(月)、9日(火)	
4 開催場所	※新型コロナウイルス感染症予防対策のため持回りにて実施	
5 傍聴者数	0人	
協議者		
6 委員氏名	吉村 克己、辻清志、河野 仁、吉田 浩、小野山 純平、原田和生、向田 悟士、孝野 覚也、酒井 眞理子、山本 哲也、尾崎 行弘、山田 聡、金繁 克則、松田 昌治、西崎 梅一、木村 勝彦、菊池 和宏、橋本 孝之	
7 担当所属	所属名	農業支援センター
	担当職員 (職・氏名)	課長補佐 岸本 貴士
	所属名	農林課
	担当職員 (職・氏名)	係長 近平 高宜
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
(事務局)	<p>(加工施設整備の必要性の再確認)</p> <p>愛南町は、平成 27 年度に「愛南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、将来にわたり、人口減少の抑制や安心して住み続けられるまちづくりを目指しています。本町の柑橘産業は、それら持続可能なまちづくりを支える基幹産業であり、平成 28 年度には「愛南町柑橘営農環境改革プラン」を策定し、それに基づき各種施策を実践しています。</p> <p>本町の柑橘産業は生果販売が収入の大半を占めていますが、少子高齢化や食生活の変化等に伴い需要は縮小傾向にあり、産地維持や産業の底上げのためにも新たな取組にチャレンジする必要性に迫られています。平成 29 年度には愛媛県から河内晩柑の果皮に認知機能の改善効果があるとの発表がなされる等、新たな付加価値を創造していく機運が高まっています。また気象条件等に左右される農業所得への影響を最小化するためにも、加工まで取り組む「農業の産業化」の実現により、新たな担い手の確保、やりがいのある農業環境の構築、耕作放棄地の抑制を図り効率的な土地利用の促進にもつながっていくことが期待できます。</p> <p>平成 28 年度に行った本町の柑橘生産者向け座談会及びアンケート調査では、加工施設整備への要望が確認され、平成 30 年度に行った柑橘加工施設整備等意向調査では、個別訪問による聞き取りにより 8 割を超える方から整備に対する意向・賛同が確認されました。新型コロナウイルスの影響で先行き不安の情勢が続きますが、愛南柑橘産業の維持・発展のためにも、終息を見据えた展開として、先人が築き上げた河内晩柑を愛南町の宝として将来に繋ぎ、新しい付加価値に繋がる柑橘加工施設整備を進めてきます。</p> <p>(加工施設整備のスケジュールの見直しについて)</p> <p>施設整備については令和 4 年 4 月の稼働を目標に事業を進めて来ました。町が目指すのは単なる加工施設ではなく、加工展開を手段に地域資源をプロデュースできる地域商社の機能を持った加工施設であるという基本方針に変わりありません。町産業の展望や市況の需給バランスを見ると、生果と加工の両輪で産地維持を目指す意義は大きいとともに、スピード感を持って整備を実施すべきだと考えています。</p> <p>一方、以前より施設整備及び運営に対する不安の声が一部の</p>

発言者	発言内容
木村委員	<p>議員等から上がっており、施設整備に対する賛同と必要性の間には乖離があると思われる一面もあります。町としては民意の意欲や運営に対する不安に対し説明責任を果たし、事業実施を図る理解と醸成をともに高めていくため、令和5年4月の稼働開始を目標に整備スケジュールの組替えを行います。</p> <p>令和3年度は、農業支援センターが主体となり委託製造によるテスト販売を先行し、販路を探る予定としています。それと併せ、住民説明等も視野に町民の理解を深める取組に努めます。施設整備は令和4年度に実施できるよう準備を進めます。</p> <p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>工事費が高いのでは？という話も聞くが、その都度、搾汁設備への信頼性と実績等を鑑み妥当性のある工事費となっているという話をしている。</p> <p>新型コロナウイルスの関係もあるので、スケジュールを遅らせることは仕方ないと思う。</p>
山田委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>JA えひめ南との連携を密にして施設整備を実現して欲しい。</p>
小野山委員	<p>(施設整備に課題はあるが、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>加工施設整備の賛否は運営手法にもよる。今後、生産者が減る見込みの中、施設整備費は大きな負担やリスクになる可能性がある。今後、経営意識を持たせるためにも出荷農家からも出資を募る方法も良いのではないかと思う。</p> <p>町外の加工施設を活用しながら展開する手法でも良いと思う。</p>
原田委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>個人的に河内晩柑等の生産量が限られるので協力はあまりできないかもしれないが、施設整備の実現に向け進めて頂きたい。</p>
松田委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解</p>

発言者	発言内容
橋本委員	<p>頂いた。)</p> <p>加工施設に対し、利用意欲のある方から出資してもらいたいと思う(利用において不公平感があるかもしれないが)。</p> <p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>南宇和高等学校の生徒が就職できるような施設になって欲しい。また、生徒のアイデアが商品化に繋がるような加工施設になって欲しい。</p>
向田委員	<p>(施設整備について賛否の判断はし難いが、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>賛否の判断はし難いが、町内に加工施設があれば良いと思う。</p>
酒井委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>テスト販売の先行は納得できる。販路があった方が必要性も示しやすい。個人的には既に6次産業化の展開を行っており利用は限定的かもしれない。なお、加工原料の出荷について多少は協力できる。</p>
西崎委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>加工施設の実現によって、河内晩柑の価値を向上させ、将来的には就農者の確保にも繋がって欲しい。若い人が中心になって整備を進めて欲しい。</p>
尾崎委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>マルエムフルーツアイランドとして、加工原料の供給に協力できる。</p>
辻委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>施設整備の延期は残念であるが、テスト販売の先行は納得できる。今回の加工施設の実現がジュースだけではなく、色々な商品化に繋がるという説明も強化して欲しい。</p>

発言者	発言内容
孝野委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>施設整備の延期は残念であるが、愛南ゴールドサワー等、具体的な販路の展望が見えてきたので整備に対する説明はし易いと思う。残渣の活用についても堆肥化までは難しいかもしれないが、有機物として園地に十分活用できると思う。</p> <p>個人的に加工原料の供給について協力はできる。</p>
金繁委員	<p>(加工原料の供給において、味楽共選としては協力出来ないが、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>テスト販売の先行は納得できる。販路があった方が整備に対する必要性も示しやすい。</p> <p>高齢化でリタイア園地も増えてくるため、加工用園地としての借入も視野に地域課題に貢献できる取組を行ってほしい。</p>
吉田委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>施設整備とは別に、町内柑橘業における労働力対策として、県内で季節アルバイトの連携など実現できれば良い。そうすると宿泊施設の整備等も課題としてある。</p>
河野委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>まずは町民の代表である町議会議員への理解を深めてほしい。加工施設で想定している 500t 程の原料調達は、JA えひめ南との連携で実現してほしい。</p>
山本委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>JA えひめ南として、連携を密に協力体制を取りたい。南宇和共選としても加工原料の供給に協力できる。</p>
菊池委員	<p>(施設整備に賛同であり、スケジュールの組替えについて了解頂いた。)</p> <p>県として、連携を密に協力体制を取りたい。</p>